



たんぽぽだより

2019年12月 No.19

上田透析クリニック

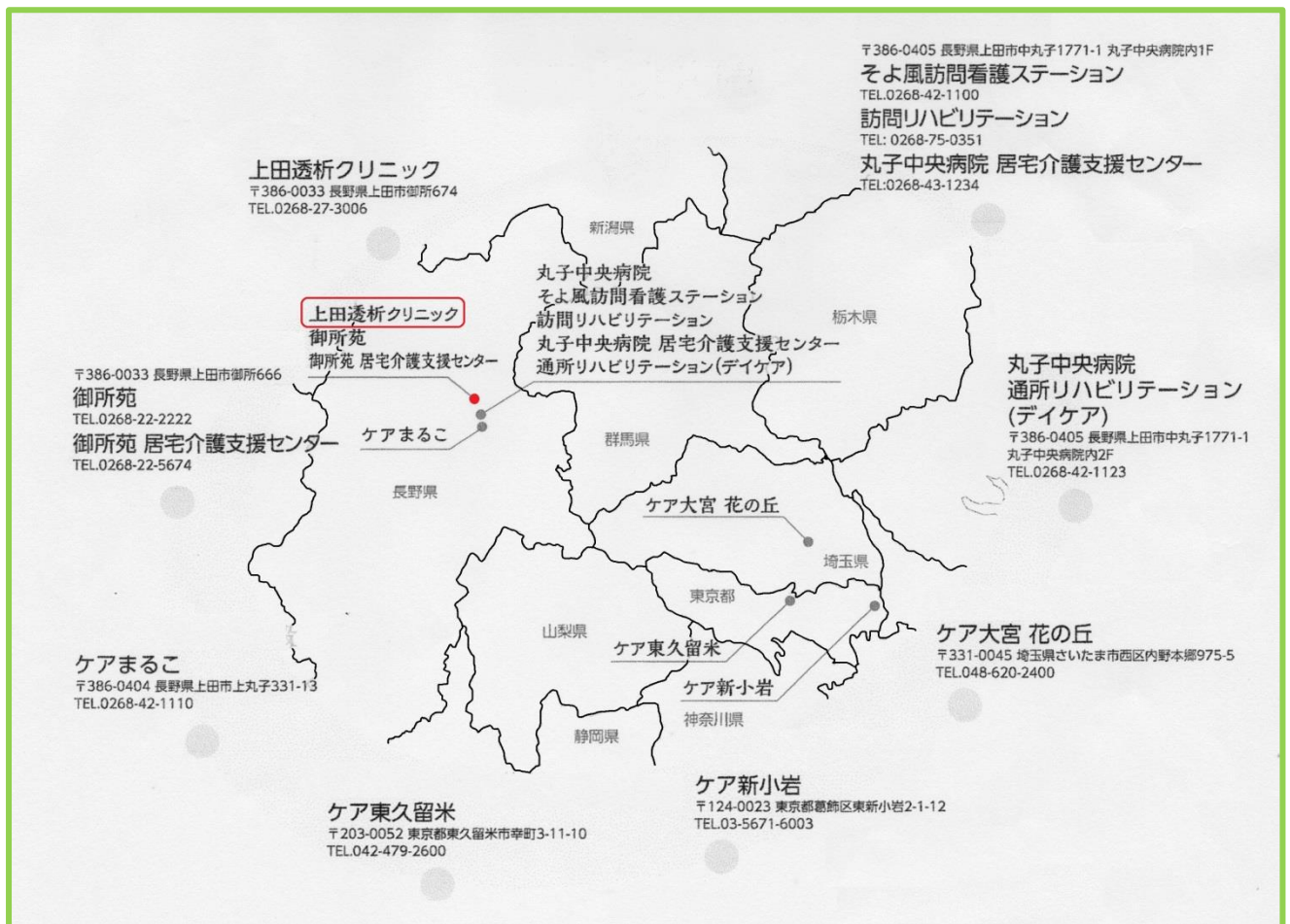


朝夕と冷たい風が吹く季節となり、すぐ近くまで冬将軍がきていますね。

さて、今回のテーマは

「丸山会関連施設のご案内」

です。



上記の図は、丸山会の関連施設の全体図です。関東圏での施設運営は、平成13年にケア新小岩を始めに設立し、超高齢化社会に対応するべく、長野県だけでなく、東京、埼玉など関東圏でも介護老人保健施設3か所を運営しています。



医療法人丸山会 丸子中央病院



1959年(昭和34年)に丸山医院として小県郡丸子町に開業しました。その後、1965年(昭和40年)に丸子中央病院として新築移転し、1971年(昭和46年)に人工透析を開始しました。当院の岡田先生はこの頃から活躍されています。今年、創立60周年記念事業の一環として、「医療と介護の総合相談ステーション」を開設しました。

総合相談ステーションは、地域住民の方々や患者さん、利用者さん、ご家族等からの様々な医療や介護に関する相談を一体的にお受けすることを目的として、設立されました。当院との連携も行っており、入院中から退院後まで、透析をしながら、その人らしい生活を送れるように連携しております。

総合相談ステーションの役割

- ①地域・グループ連携室
- ②入退院支援室
- ③医療福祉相談室
- ④訪問看護ステーション
- ⑤訪問リハビリテーション
- ⑥居宅介護支援センター



介護老人保健施設 御所苑

当院と併設している御所苑は、1990年(平成2年)に長野県で初めての独立型介護老人保健施設として誕生しました。入所だけでなく、通所リハビリテーションを中心に訪問リハビリテーションや居宅介護支援事業を行っています。当院へ併設している利点を生かし、透析患者さんが多く入所され、通院されています。



医療法人丸山会は、多数の中間施設を運営しており、上田透析クリニックは、これらの施設との密接な連携を行っています。患者さんが在宅から安心して通院できる施設を目指してこれからもがんばっていきます！